

RSuite パーク保留 操作マニュアル

Grandstream GXP2170 設定例を含む

このマニュアルでは、RSuite のパーク保留を使って通話を一時的に預け、同じセクションの電話機から取り次ぐ方法を説明します。利用者の操作と、管理者がセクションの設定枠数に合わせて GXP2170 へキーを登録する方法を一冊にまとめています。

項目	内容
文書状態	リリース仕様準拠 GXP2170 実機確認前
対象機能	RSuite パーク保留 セクション別 0～10 枠
電話機設定例	Grandstream GXP2170
作成日	2026 年 10 月 3 日
文書版	0.2

このマニュアルで分かること

- 利用者がパーク保留へ預ける手順と、保留された通話を取る手順
- セクション内で共有するスロット番号と、時間切れ時の呼び戻し
- GXP2170 の VPK に、パークキーとスロットキーを登録する方法
- 他社電話機で利用する場合に必要な機能と、代表的な確認事項

文書状態について 本書は、セクションごとに 0～10 枠を設定できるリリース仕様に合わせています。GXP2170 の LED 表示や画面メッセージは、ファームウェアと電話機設定によって異なるため、導入時に実機で確認してください。

目次

- 1 パーク保留の概要
- 2 利用者の操作
- 3 運用上の注意
- 4 Grandstream GXP2170 の設定例
- 5 導入時の動作確認
- 6 他社電話機で利用する場合
- 7 困ったとき
- 8 参考資料

1 パーク保留の概要

パーク保留は、通話を特定の電話機に保持せず、共有の保留場所へ一時的に預ける機能です。同じセクションの利用者は、空いている電話機から該当するスロットキーを押して通話を引き継ぎます。

項目	リリース仕様
共有範囲	同じセクションの SIP アカウントで共有
スロット	セクションごとに 0～10 枠。0 は無効、N 枠は 701 から順に N 個
割り当て	設定範囲内の空き番号から、通常は最も小さい番号を自動割り当て
保留時間	120 秒
時間切れ	スロットを解放し、保留操作元の電話機を最大 30 秒呼び戻す
ユニットの扱い	同じセクションに属するユニット間でスロットを共有

利用できるスロット数は、セクションごとの設定により 0～10 枠です。0 はパーク保留を使用しない設定です。N 枠の場合は 701 から順に N 個を使用し、例えば 5 枠なら 701～705 となります。同じ 701 という番号でも、別のセクションの通話とは分離されます。別セクションの 701 に保留された通話を取ることはできません。

2 利用者の操作

2.1 通話をパーク保留へ預ける

1. 通話中にパークキーを押す 電話機は通話相手を、セクションに設定された空きスロットへ転送します。
2. 使用中になったスロットを確認する 設定されている 701 以降のキーのうち、新たに使用中表示へ変わったキーが割り当て先です。

3. 取り次ぎ先へ番号を伝える 『701 に保留しました』のように、割り当てられた番号を伝えます。

パークキーは空きスロットを自動的に選びます。利用者が預け先の番号を手入力する運用は想定していません。

2.2 パーク保留された通話を取る

1. 案内されたスロットを確認する 使用中表示になっている、設定範囲内のスロットキーを選びます。
2. スロットキーを押す 電話機が該当スロットへ発信し、保留中の相手と接続します。
3. キーが空き表示へ戻ることを確認する 通話を取得すると、そのスロットは次の保留に使用できます。

2.3 120 秒以内に取得されなかった場合

保留から 120 秒が経過すると、そのスロットは自動的に解放され、保留操作をした電話機へ呼び戻します。呼び戻しは最大 30 秒です。応答すると元の相手との通話を継続できます。応答しない場合、話中の場合、または呼び戻しに失敗した場合は通話を終了します。

3 運用上の注意

3.1 スロットは個人専用ではありません

701 以降の設定済みスロットは、同じセクションで共用します。同じセクションの別ユニットや別の利用者也、使用中のスロットから通話を取得できます。取り次ぎ時は、相手を間違えないようスロット番号を明確に伝えてください。

3.2 LED は通話の所有者を示しません

スロットキーの LED は、原則としてスロットが空いているか使用中かを示します。自分が保留した通話だけを識別する表示は保証しません。複数の通話が同時に保留されている場合は、割り当て直後に変化したキーと、案内された番号を確認してください。

3.3 すべてのスロットが使用中の場合

セクションに設定されたスロットがすべて使用中の場合、追加のパーク保留は完了しません。通話が預けられたと判断せず、元の通話が継続しているかを確認してください。電話機に表示されるメッセージや操作後の状態は、導入時に実機で確認してください。

3.4 空きスロットのキーを押した場合

空きスロットには取得できる通話がありません。案内された番号とキーの使用状態を確認してから、正しいスロットを押してください。

3.5 利用できる範囲

- パークスロット数が1～10に設定されているセクションの電話機から利用します。0に設定されているセクションでは利用できません。
- スロット番号が同じでも、別セクションの保留通話には接続しません。
- 電話機には管理者がパーク用キーを設定します。通常の利用では機能番号を手入力しません。

3.6 枠数を減らす前に保留中の通話を確認する

パークスロット数を減らす場合や0に変更する場合は、事前に利用者へ通知し、保留中の通話がないことを確認してから設定を変更します。削除されるスロットに通話が残っていると、手動で取得できなくなる可能性があります。その場合も120秒の保留時間が満了するとスロットを解放し、保留操作元へ呼び戻します。

利用者が覚える操作

目的	押すキー	確認すること
通話を預ける	パーク	設定範囲内で使用中へ変わったスロット番号
通話を取る	案内されたスロット	相手につながり、キーが空き表示へ戻ること
時間切れ	操作不要	元の電話機への呼び戻しに応答すること

4 Grandstream GXP2170 の設定例

この章は電話機を設定する管理者向けです。GXP2170 の Web 管理画面から、通話を預ける共通キーを 1 個と、セクションに設定した数のスロットキーを登録します。固定 VPK 1～6 の SIP アカウントを維持する構成では、最初の画面に 701～705 の 5 枠を配置できます。

4.1 設定前の確認

- 電話機が RSuite へ登録され、通常の発着信ができることを確認します。
- 電話機の IP アドレス、管理画面の認証情報、使用する RSuite アカウントを確認します。
- 電話機のファームウェアバージョンを記録します。実機試験前だけを理由に更新せず、現在の環境で動作を確認します。
- 対象セクションに設定されているパークスロット数を確認します。0 の場合はパーク用キーを登録せず、1～10 の場合は設定数と電話機のスロットキー数を一致させます。
- 既存の VPK 配置を記録し、業務で使用中のキーを上書きしないようにします。

4.2 キー配置例

GXP2170 には 12 個の固定 VPK があります。既定の VPK 1～6 を SIP アカウント用として維持し、VPK 7 を共通パーク、VPK 8～12 を 701～705 に割り当てます。電話機上の表示名は Park 1～Park 5 とし、それぞれスロット 701～705 に対応します。この構成を使う場合は、対象セクションのパークスロット数を 5 枠に設定すると、電話機に表示されないスロットへ自動割り当てされません。

固定 VPK	用途	表示名
1～6	SIP アカウント 1～6	既存のアカウント名
7	空きスロットへ預ける	パーク
8	スロット 701	Park 1
9	スロット 702	Park 2
10	スロット 703	Park 3
11	スロット 704	Park 4
12	スロット 705	Park 5

4.3 VPK 設定画面を開く

1. 電話機の Web 管理画面へログインする ブラウザーで電話機の IP アドレスを開きます。
2. VPK 画面を開く Settings、Programmable Keys、Virtual Multi-Purpose Keys の順に開きます。
3. 編集するキーを選ぶ Edit VPK を押し、Mode、Account、Description、Value を設定します。
4. 設定を確定する 編集画面の Save を押した後、VPK 一覧の下部にある Save VPK も押します。

4.4 パーク用キーを登録する

共通パークキー 通話中に押すと、RSuite が設定範囲内の空きスロットを自動的に選んで通話を保留します。Value の「*#0000#700」は自動割り当て用の機能番号であり、スロット 700 ではありません。

スロットキー 指定されたスロットの空き・使用中を表示し、保留された通話を取得します。通話を預ける際は共通パークキーを使用し、スロットキーで保留先を指定しません。

Account 各キーが発信および状態監視に使用する RSuite アカウントを選択します。本例では、対象セクションで使用する同一のアカウントを VPK 7～12 に設定します。複数の SIP アカウントを登録している場合は、対象セクションに属するアカウントを選んでください。

固定 VPK (例)	キーの役割	Mode	Account	Description	Value
7	共通パーク	Call Park	RSuite アカウント	パーク	*#0000#700
8	スロット 701	Monitored Call Park	RSuite アカウント	Park 1	*#0000#701
9	スロット 702	Monitored Call Park	RSuite アカウント	Park 2	*#0000#702
10	スロット 703	Monitored Call Park	RSuite アカウント	Park 3	*#0000#703
11	スロット 704	Monitored Call Park	RSuite アカウント	Park 4	*#0000#704
12	スロット 705	Monitored Call Park	RSuite アカウント	Park 5	*#0000#705

セクションを 6～10 枠に設定する場合は、706 以降も同じ形式で動的 VPK の別ページなどへ登録してください。自動割り当てされるすべてのスロットを電話機から確認・取得できる構成にします。

注意 GXP2170 が「*#0000#701」のように複数の#を含む番号を Monitored Call Park の購読先としてそのまま送信し、RSuite の hint 状態を表示できるかを導入時に確認します。取得できても LED だけ変化しない場合は、7 章の確認事項を参照してください。

4.5 シャープを途中で送信しない設定

GXP2170 では Key As Send の初期値が Pound (#) です。RSuite の機能番号は途中で#を含むため、使用するアカウントで次の設定を行います。

場所	項目	設定値
Accounts、Account X、Call Settings	Key As Send	Disabled

4.6 ダイヤルプランへ機能番号を許可する

使用中のダイヤルプランが*と#を含む番号を許可していない場合は、Accounts、Account X、Dial Plan へ次の Pattern を追加します。既存ルールを削除または上書きせず、追加ルールとして登録してください。既存設定ですでに両方の番号形式を許可している場合は追加不要です。

Name	Rule	Type	対象
RSuite Park 700-709	*#0000#70x	Pattern	共通パーク 700 とスロット 701 から 709
RSuite Park 710	*#0000#710	Pattern	スロット 710

5 導入時の動作確認

最初からすべてのキーを登録せず、共通パークキーと Park 1 キー（スロット 701）だけで基本動作を確認してから、セクションに設定した残りのスロットキーを追加すると原因を切り分けやすくなります。

5.1 最小構成で確認する

- 2 台の電話機を用意する** 同じセクションに属する RSuite アカウントを登録します。
- 共通パークキーと Park 1 キー（スロット 701）を設定する** 両方の電話機で使用する Account と Value を確認します。
- 1 台目で通話を開始する** 内線または外線との通話を継続した状態にします。
- パークキーを押す** 通話が転送され、Park 1（スロット 701）が使用中表示へ変わるか確認します。
- 2 台目で Park 1 キーを押す** 保留相手と接続し、Park 1（スロット 701）が空き表示へ戻るか確認します。

5.2 続けて確認する項目

確認項目	期待する結果
複数スロット	701 が使用中なら、次の保留が 702 へ自動割り当てされる

確認項目	期待する結果
同一セクションの別ユニット	同じスロットキーから通話を取得できる
別セクション	同じ 701 を同時に使用しても、通話と LED 状態が混ざらない
時間切れ	120 秒後にスロットが空き、保留操作元が最大 30 秒鳴る
設定した全スロットが使用中	追加のパークが完了せず、元通話の状態を確認できる
空きスロット取得	通話には接続せず、電話機が待受または終了状態へ戻る

動作確認は、実際に運用する枠数で行います。GXP2170 を 5 枠で運用する場合は 701～705 を確認すればよく、706～710 を追加して 10 枠すべてを試験する必要はありません。

5.3 記録する内容

- GXP2170 のファームウェアバージョン
- 共通パークキーを押した直後の画面表示と音
- 空き、使用中、取得中におけるスロットキーの色と点灯方法
- 自分が保留した通話と、他の電話機が保留した通話の表示差
- 設定した全スロットが使用中の場合と、空きスロットを取得した場合の表示および元通話の状態

6 他社電話機で利用する場合

RSuite は Grandstream 固有の操作を必須としません。電話機の名称や設定画面が異なっても、次の機能を備えていれば基本的なパーク保留を利用できます。

- 通話中の相手を*#0000#700 へブライント転送できるプログラムキー
- 待受中に、セクションへ設定された*#0000#701 以降の取得番号へ発信できるキー
- *と#を含む番号を途中で分割せず送信できるダイヤル設定
- スロット状態を表示する場合は、各取得番号を SIP SUBSCRIBE できる BLF 相当機能

状態監視に対応しない電話機でも、共通パークへの転送と設定済みスロット番号への発信ができれば、LED 表示なしで利用できる可能性があります。通常の BLF キーが番号の先頭へピックアップコードを付加する機種では、パーク専用モードを使うか、ピックアップ動作を無効にしてください。

7 困ったとき

症状	確認すること
#を入力した時点で発信される	使用アカウントの Key As Send を Disabled にし、設定を保存する
キーを押しても番号が送られない	VPK の Account、Value、電話機のダイヤルプランを確認する
編集後もキーが変わらない	VPK 編集画面の Save に加え、一覧下部の Save VPK も押す
パークキーで通話を預けられない	Mode が Call Park であること、Value が*#0000#700 であること、転送機能が無効化されていないことを確認する
取得はできるが LED が変わらない	Mode を Monitored Call Park にし、Value が完全一致していることを確認する。改善しない場合は管理者が SUBSCRIBE の送信先を確認する
キーを押すと**などが付加される	通常の BLF ではなく Monitored Call Park を使う。必要に応じて BLF Call-pickup を無効にする
別の電話機から取得できない	両方の電話機が同じセクションに属するか、案内されたスロットがまだ使用中かを確認する
元の電話機へ戻ってくる	120 秒以内に取得されなかったための呼び戻し。応答して通話を継続する
どのスロットにも預けられない	対象セクションのパークスロット数が 1～10 枠に設定されているか確認する。設定済みの場合は、すべてのスロットが使用中でないか確認する

8 参考資料

- [GXP21xx Administration Guide / User Guide](#)
- [VPK Guide / Firmware](#)